

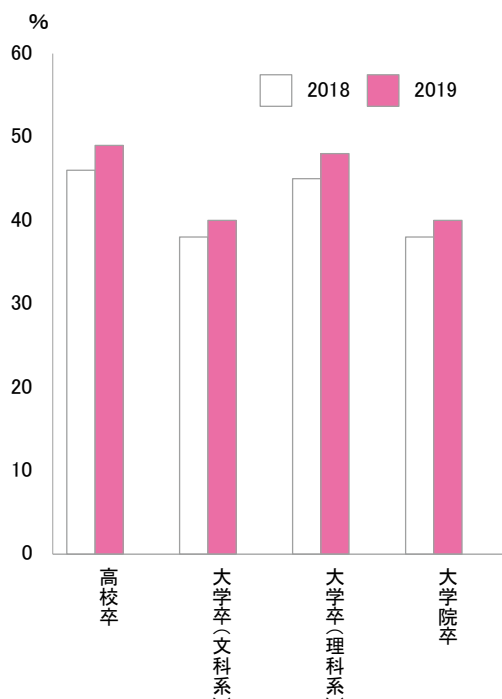
ちょっと気になるデータ

新規学卒者の採用内定状況 —労働経済動向調査(2019年2月)から—

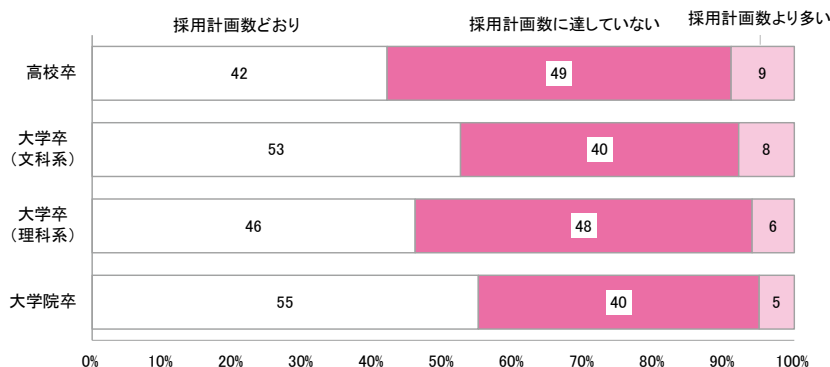
3月に厚生労働省から「労働経済動向調査(2019年2月)」の結果が公表された。今回の特別項目として調査されている「2019年新規学卒者の採用内定状況」の結果について紹介する。

2019年2月1日現在で、2019年新規学卒者^{注1}の「採用計画・採用予定がある」事業所の割合は、「高校卒」で48%、「大学卒(文科系)」で46%、「大学卒(理科系)」で46%、「大学院卒」で28%となっている。「高校卒」、「大学卒(文科系)」、「大学院卒」では前年同期(2018年新規学卒者に関するもの。以下同じ。)の「採用計画・採用予定がある」事業所割合を上回っており、「大学卒(理科系)」では前年同期と同水準となっている。

採用計画数に採用内定(配属予定)が達していない事業所の割合 2月1日現在



採用内定の状況 2月1日現在



産業別にみると、「高校卒」の「採用計画・採用予定がある」事業所の割合は、「製造業」(74%)で最も高く、次いで「建設業」(61%)となっており、「大学卒(文科系)」については「情報通信業」(82%)、「金融業、保険業」(77%)、「大学卒(理科系)」については「情報通信業」(82%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(70%)、「大学院卒」については「情報通信業」(71%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(60%)などとなっている。

「採用計画・採用予定がある」事業所の採用内定(配属予定)の状況^{注2}をみると、「大学卒(文科系)」と「大学院卒」では「採用計画数どおり採用内定(配属予定)をした」事業所の割合が最も多くなっている(順に53%、55%)。一方、「高校卒」と「大学卒(理科系)」では、「採用計画数に採用内定(配属予定)が達していない」が最も多くなっている(同49%、48%)。

前年同期と比較すると、「高校卒」、「大学卒(文科系)」、「大学卒(理科系)」、「大学院卒」全てにおいて、「採用計画数に採用内定(配属予定)が達していない」事業所の割合は前年同期を上回っている。

注1 2019年3月卒業予定者又は概ね卒業後1年以内の者を新規学卒者とほぼ同等の条件で2019年度に採用する者。

注2 「新規学卒者の採用計画・採用予定がある」事業所を100とした割合。

(調査部 統計解析担当)